



第240号 令和7年(2025年)8月20日

市議会だより

■主な内容

6月定例議会の概要	2
各委員会での主な議案審査状況	2
議決一覧	2
一般質問	3
常任委員会所管事務調査事項	6

初開催!企業連携型子育て支援

三重県下で初めて、企業と自治体が連携した、企業の従業員向けの子育て支援事業「ママパパのつどい」を実施しました。子育て世代の転入者などが鈴鹿市の子育て支援策などについて知り、子育てへの安心感をもって気軽に話せる子育て仲間を作るきっかけになりました。



市議会の詳しい情報は鈴鹿市議会のウェブサイトをご覧ください

鈴鹿市議会

検索

<https://www.city.suzuka.lg.jp/gikai/>



6月定例議会の概要

鈴鹿市工業振興条例の一部改正など9議案を可決

6 月定例議会を、6月5日から6月30日までの26日間の期間で開催しました。まず、初日の6月5日には、「鈴鹿市工業振興条例の一部改正について」など3件の議案が市長から提出され、提案説明が行われました。

16日、17日、18日及び19日には、15名の議員が一般質問を行いました。

19日には、議案3件を産業建設委員会に付託し、また、市長から「鈴鹿市議会議員及び鈴鹿市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について」など2件の議案が追加提出され、提案説明の後、総務委員会に付託しました。20日及び23日には、各委員会で付託議案の審査などを行いました。

最終日の30日には、各委員長から付託議案について審査結果の報告があり、採決の結果、議案5件はいずれも可決しました。次に、「鈴鹿市議会委員会条例の一部改正について」の委員会発議案が提出され、提案説明の後、採決の結果、可決しました。続いて、議員発議案2件の意見書案が提出され、提案説明の後、採決の結果、可決しました。続いて、「鈴鹿市監査委員の選任同意について」の議案が市長から追加提出され、提案説明の後、採決の結果、同意することに決定しました。

最後に、8月31日までを休会とすることを決定し、散会しました。

各委員会での主な議案審査状況

総務委員会、産業建設委員会の議案審査状況に関する詳細は、動画（YouTube）をご覧ください。



総務委員会
6月23日



産業建設委員会
6月20日

議決一覧（6月定例議会）

【全会一致で可決した議案など】

議案番号など	件名
議案第38号	鈴鹿市工業振興条例の一部改正について
議案第39号	市道の認定について
議案第40号	市道の廃止について
議案第41号	鈴鹿市議会議員及び鈴鹿市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について
議案第42号	鈴鹿市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
議案第43号	鈴鹿市監査委員の選任同意について
委員会発議案第4号	鈴鹿市議会委員会条例の一部改正について
議員発議案第2号	米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書

（次ページに続く）

(前ページから続く)

【賛成多数で可決した議案など（表決が分かれた議案など）】

議案番号など	件 名
議員発議案 第1号	ガソリン等の暫定税率の早期廃止を求める意見書

※ 可決した2件の意見書は、国会および国の関係省庁に提出しました。なお、提出した意見書は、右のQRコードから市議会ウェブサイトにて閲覧できます。



【表決が分かれた議案などに対する議員の賛否状況 ○：賛成 ×：反対】

※会派名は、鈴和および日本共産党は諸派、無は無所属です。

※議長 野間芳実は原則として採決に加わりません。

会派名	新緑風会								自由民主党鈴鹿市議団						市民の声				公明党		鈴和		日本共産党	無					
議員名	曾我 正彦	大杉 吉包	水谷 進	山口 善之	山中 智博	河尻 浩一	加藤 公友	松葉谷 光由	森 雅之	野間 芳実	森喜代 造	宮木 健	太田 龍三	田中 淳一	桐生 常朗	中西 大輔	市川 哲夫	藪田 啓介	市川 昇	藤井 栄治	藤浪 清司	池上 茂樹	船間 涼子	田中 通	南条 雄士	高橋さ つき	石田 秀三	矢田真 佐美	
議員発議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一般質問（要旨）

一般質問は、定例議会において提案された議案に関係なく、市の一般事務について市の方針をたずめます。

公 明 党

藤浪 清司 議員

良好な生活環境の確保について

（質問）健康で安全な生活環境を阻害する要因である「騒音、悪臭、ポイ捨て、不法投棄、水質汚濁、雑草・かん木などの繁茂、動物の不適正な飼養」への対応と抑止効果を含め改善に資する「良好な生活環境の確保に関する条例」制定について尋ねる。

（答弁）関係法令などに基づく対応と情報媒体活用や出前授業での啓発等環境モラルの向上を図る。また、相談件数の推移や相談内容の分析を始め、条例制定による実効性や抑止効果について調査研究していきたい。

その他の質問 [ODX推進による効果検証](#)



市民の声

中西 大輔 議員

鈴鹿市の人事について

（質問）①2018年以降の退職者推移について分析と検討は②人事評価制度に対する評価と考えは③人事異動そのものの評価はあるか④職員に人事異動に対する満足度は聞くか⑤昇任試験の導入の考えは。

（答弁）①退職数について、待遇への不満だけではなく多様な要素があると考え。②他団体の制度も参考に、適切な制度運用に取り組む。③人事異動の評価は行っていない。④人事課として、満足度を直接聞くことはない。⑤昇任試験制度の実施は、困難である。



新 緑 風 会

加藤 公友 議員

安心・安全な学校づくりに向けて

（質問）学校には現在、多様なこどもが在籍し、教員には個別の支援が求められている。このため、教員の業務は複雑かつ多忙で、特に新卒教員への影響は深刻な状況にある。本市で採用された新卒教員のうち担任を持つ割合と過度な負担を避けるための支援体制について問う。

（答弁）令和7年度の新卒教員30人のうち、29人が学級担任を務めている。また、校内指導教員や、学年主任、市で任用する学力向上支援員などが中心となり、日々の悩みから教科指導、学級経営など、幅広く指導・助言が行える体制を整備している。



新 緑 風 会

曾我 正彦 議員

地域づくりモデル地区の創設について

（質問）人口減少や高齢化に伴う移動に関する課題などに対応する総合的な地域づくり「地域まもり」を進めるため、複数の地域づくり協議会が協働してモデル事業を創設することは可能か。可能な場合は人件費相当額の一括交付金への上乗せ、市職員の配置、地元採用は可能か。

（答弁）試行的に実施する場合は、予算面も含め、地域間での合意のもとであれば、課題解決手段として意義深い。人件費相当額の一括交付金上乗せは考えていないが、交付金の範囲であれば地元採用は可能である。

その他の質問 [〇自然災害発災時の海岸部地域の緊急避難](#)



コロナ後の備えと支援策について

(質問) 新型コロナの感染が国内で初めて確認されてから5年が経過した。①感染後の後遺症やワクチン接種後の副反応への支援体制②将来の感染拡大に備えた改善策を問う。

(答弁) ①「鈴鹿市医療・健康相談ダイヤル24」や、市役所2階の「くらしサポートセンター」で相談を受け、対応に当たっていく。②県と医療機関が協定を結び、令和6年度から新興感染症に対応可能な医療体制を確保している。今年度は「鈴鹿市新型インフルエンザ等対策行動計画」を改定し、有事の際の体制づくりに努めていく。



本市の課題について

(質問) 国は、令和5年12月に市街化調整区域の施設開発許可を緩和するため、地域未来投資促進法の基本方針を改正しているが、この法律について本市の課題と取り組みを問う。

(答弁) 本市でも、産業用地の不足が課題となっている。県内では、既に松阪市、桑名市、いなべ市が、基本計画における重点促進区域を定めている。本市においても、重点促進区域を指定し、土地の有効活用が進められるよう、都市マスタープランとの整合性を図りながら検討していく。



鈴鹿市の農政と水田等の遊休農地・耕作放棄地について

(質問) 近年の水稻作付面積を伺う。また、衛星データにより遊休農地などを把握する農業DXに取り組み、職員の人的資源を農業の担い手育成へ集中すべきでないか。

(答弁) 主食用米の作付面積は、昨年1,933haであったが、本年は2,000haに回復している。人工衛星データを活用したシステムの導入に関しては、今後の業務の効率化を進めるに当たり、先行する近隣市の活用状況などについて情報収集に努めていく。

その他の質問 ○水道事業の人事配置・人材育成



生活保護について

(質問) 保護申請は、利用者の多くの個人情報を取り出す。プライバシー保護のため個室対応とし、窓口カウンターはパーテーション設置などに配慮を。所持金を箱に出させるのは利用者を見下す人権侵害。近隣市のように自己申請制とし、利用者の尊厳を守るべき。市は、「管理」から「支援」へ、人権意識を改めること。

(答弁) 3カ所の相談室があり活用している。所持金確認は適正な保護実施のため間違いがないよう申請者と共に確認をしている。

その他の質問 ○生理の尊厳、女性の人権



教職員の働き方について

(質問) 教職員の多忙化・長時間労働の大きな要因に、教員1人当たりの授業時間の負担が増え続けてきたことがある。平均1日5時間の授業の上に多くの業務があり仕事が終わらない。月23時間を超える時間外労働、さらに持ち帰り仕事もある。1日8時間で収まらない仕組みを変えること、教員の定数増は待ったなしの課題だ。国および県に強く要望することを求める。

(答弁) 市費県費での加配教員の配置や業務の負担軽減などに努めるとともに、義務標準法の改正に向け要望を継続する。

その他の質問 ○農村集落の維持のための施策



住まいの安心確保について

(質問) 市営住宅の入居率向上や管理運営の効率化などのため、令和8年4月から指定管理者制度が導入される中、「駐車場が有料化」することに関して丁寧な説明と周知徹底を求める。また、昨今の家計負担が増大しているため、料金設定の見直しや開始時期の延長の検討を要望する。

(答弁) 駐車場については迷惑駐車苦情や相談が多く、使用料を徴収することで適正な管理と整備のための財源確保につなげる。入居者に対しては理解を得られるよう説明会を開催した。条例による駐車場使用料減免や徴収猶予規定の周知に努める。



Cバスについて

(質問) Cバスは、西部路線が平成17年4月、南部路線は平成23年4月から本格運行された。西部路線と比べ南部路線は、収支率が10ポイント悪い。そこで、南部路線の収支率の向上に向けた取り組みとして、CバスをFマートサーキット通り店の敷地へ乗り入れてはどうか。

(答弁) 過去には、施設管理者や運行事業者と協議を行っているが、それぞれの観点から、Fマート敷地内へのCバス乗り入れは容易ではなく、実現の可能性について関係者と共に検討していく。

その他の質問 ○ドローン



中学校の部活動の地域移行について

(質問) 令和8年10月に本格実施するまでのスケジュールは。

(答弁) 来年の中学3年生が引退する10月以降に地域移行を実施予定。今年モデル事業で運営団体に事務処理などの助言を行うとともに、生徒の安全確保や不適切行為の防止を図るための研修を実施する。モデル事業実施後のアンケート調査で本格実施に向けての内容を協議し体制整備と情報周知に努め円滑に地域移行できるよう、準備していく。

その他の質問 ○登下校の安全対策 ○円滑な地域協働を推進するための課題解決



まちづくりについて

(質問) 清掃センター建設に当たり、天名地区清掃センター対策委員会と本市は、平成26年に覚書を締結しており、内容には天名地区に焼却施設の新設などは行わないとなっているが、どのように考えているのか。

(答弁) 天名地区清掃センター対策委員会に対して正式な建設に関する依頼を行っている中、覚書については、当事者間で、基本合意の事項を協議、確認していく。

その他の質問 ○市のボランティア
○境界立会い



小中学校のICT化支援体制について

(質問) 今年度より保護者連絡システムtetoruを本市の全小中学校に導入し、学習専用システムミライシードも導入から数年経った。Googleアプリの活用はまだこれからだが、小中学校ICT化支援体制はどう考えているのか。

(答弁) 保護者連絡システムの保護者満足度は95%前後と高いが、引き続き、保護者の利便性向上や教員の業務負担軽減に努めていく。授業改善の促進を図り、クラウドを活用しながら、こども主体の学びの実現を市内全ての学校で進める。

その他の質問 ○文化財のデジタルアーカイブ



国の省庁との人事交流について

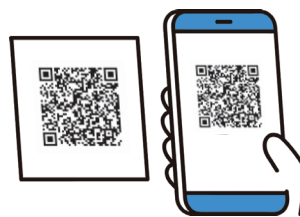
(質問) 行政において職場のスキルを上げるには国の省庁との人事交流が重要であるが、①現状および②今後の展望についてお聞きしたい。

(答弁) ①平成24年度以降継続的に派遣しており今年度は経済産業省と厚生労働省に各1名派遣している。国との人事交流は人材育成にも大きく寄与するなど効果は大きい。②派遣した職員が本市に戻り、国での業務経験を生かして活躍していること、そして東京事務所との連携やさまざまな効果が期待できることなどから、今後も積極的に推進していく。

その他の質問 ○鈴鹿市の文化行政



各委員会での主な議案審査状況および一般質問の記事に掲載しているQRコードをスマートフォンで読み取っていただくと、動画をご覧ください。



※動画視聴の際は、料金プランなどを確認し、思いがけず高額な請求を受けることにならないようご注意ください。

常任委員会の所管事務調査事項が決定

総務・文教環境・地域福祉・産業建設の4つの常任委員会では、それぞれの所管事務について調査研究を行っています。調査研究した成果は、次年度の予算編成や政策決定の参考として市政に反映されるよう、例年1月中旬ごろに市長に対し提言します。

なお、令和7年度に各常任委員会において調査する事項は、次のとおり決定しました。

総務委員会

1 企業版ふるさと納税について

地方創生を目的として、平成28年度より運用が開始された制度であり、今後、本市が企業に対して本制度について効果的に周知を行うために調査研究を行います。

2 消防指令センターをはじめとした消防行政について

令和8年4月より、津市・亀山市・本市の3市で、消防指令業務の共同運用を開始予定であり、消防指令センターの効率的な運営などについて調査研究を行います。



文教環境委員会

1 途切れない教育支援体制の充実について

支援を必要とするこどもに対しては、就学時だけでなく、就学前から社会参加までの途切れない支援が必要なため、教育委員会、学校、そして福祉などの関係各課の連携に重点を置き、支援体制の充実について調査研究を行います。

2 カーボンニュートラルの実現に向けた取組について

2050年までのカーボンニュートラルの実現に向け、国を挙げて取り組みが進められている中、再生可能エネルギーを活用した脱炭素化の取り組みや、市民や企業を巻き込んだ取り組みなどについて調査研究を行います。

3 これからの図書館の在り方について

近年、図書館へのニーズは、こどもたちの居場所、学習や交流の場など、多様な機能を持つ場所へと変化しており、地域社会においてますます重要な役割を担うことが期待されているため、これからの図書館の在り方について調査研究を行います。





地域福祉委員会

1 こどもまんなか社会の実現に向けた取組について

こどもや若者の意見聴取と施策へ反映させる仕組みづくりおよび今後策定される鈴鹿市こども計画策定手法と、課題であるこどもの居場所づくり、虐待防止、こどもの貧困対策など、こどもまんなか社会の実現に向けた取り組みについて調査研究を行います。

2 地域と福祉の連携による移動手段の確保について

高齢になっても安心して暮らし続けることができ、誰もが快適に移動できるまちを実現するために、ボランティア移送など地域と福祉分野の連携による生活交通について調査研究を行います。

3 途切れのない発達支援について

発達に課題のあるこどもに対する途切れのない支援体制の整備に向けて、支援体制の強化と支援による効果の検証について調査研究を行います。

4 こども誰でも通園制度について

令和8年度から全国で本格的にスタートする保護者の就労要件などを問わずに、こどもを保育所などの施設に通わせることができる「こども誰でも通園制度」について調査研究を行います。



産業建設委員会

1 地域資源を活かした官民連携による地域活性化について

本市の地域資源を活用したイベントを盛り上げるため、他市の地域資源を活かしたイベントや官民連携の取り組みなどについて調査研究を行います。

2 農業集落排水事業の在り方について

農業集落排水事業を持続可能な形で運営するため、効率的な経営に向けた取り組みについて調査研究を行います。

3 立地適正化計画について

人口減少社会において、質の高い暮らしを維持し、持続可能な都市を構築していくため、本市にも立地適正化計画が必要と考えられることから、調査研究を行います。

4 ライドシェアについて

本市では、観光客が効率的に観光地を回れる公共交通手段が少ないため、地元の車やドライバーを活用し、観光客の移動を支援するサービスを導入することで、公共交通の補完的役割を果たし、観光政策の強化にもつながると考えられることから、ライドシェアについて調査研究を行います。



議員研修会を開催しました



議員研修会の様子

6月30日に「令和7年度鈴鹿市議会議員研修会」を開催しました。今年度のテーマは、「ハラスメントについて」と題し、今年4月から特定任期付き職員として鈴鹿市に入庁された、弁護士の光永圭佑参事にご講演いただきました。弁護士の立場からハラスメントの概要や事例について説明いただくことで、ハラスメントが社会的信用や信頼を失墜させる行為という認識を新たにし、理解を深めることができました。

8・9月の会議日程

(注)日程は変更になる場合があります。

8月	25日	月	10:00	議会運営委員会	9月	18日	木	10:00	総務委員会(分科会)
9月	1日	月	10:00	本会議(提案説明)					地域福祉委員会(分科会)
	2日	火	14:00	議会運営委員会		19日	金	10:00	文教環境委員会(分科会)※
	9日	火	10:00	本会議(質疑・一般質問)					産業建設委員会(分科会)※
	10日	水	10:00	本会議(一般質問)		22日	月	10:00	総務委員会(分科会)※
	11日	木	10:00	本会議(一般質問)					地域福祉委員会(分科会)※
				本会議(一般質問)		24日	水	10:00	常任委員会予備日※
	12日	金	10:00	議会運営委員会(本会議終了後)					予算決算委員会
				各派代表者会議(議会運営委員会終了後)		25日	木	10:00	各派代表者会議(予算決算委員会終了後)
	16日	火	10:00	本会議(一般質問・追加議案等・委員会付託)					広報広聴会議(各派代表者会議終了後)
				予算決算委員会(本会議終了後)		26日	金	10:00	議会運営委員会
	17日	水	10:00	文教環境委員会(分科会)		29日	月	10:00	本会議(委員長報告・討論・採決)
				産業建設委員会(分科会)					全員協議会(本会議終了後)

※常任委員会の進行状況により、開催しない場合があります。

皆さまのご意見などをお聴かせください

市議会や市議会だよりに対する皆さまのご意見・ご提案・ご要望をお聴かせください。今後の議会運営の参考にさせていただきます。

宛先は

鈴鹿市議会事務局

〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号
TEL: 059-382-7600 FAX: 059-382-4876
E-mail: giji@city.suzuka.lg.jp